

学校全体の取り組み

授業規律について	① 指名されてから発言させる。 ② 「はい」は一回または黙って挙手をさせる。 ③ 指名されたら「はい・立つ・です」 ④ みんなに聞こえる声の大きさを発言させる。(声のもののさしの活用) ⑤ 発言している人の方を向いて聞かせる。
持ち物について	① 4月に決めた物を持ってきているのかを観察、または点検する。そして、不要な物を持ってこさせない。 ② 机の横にたくさん物をかけさせない。 ③ 道具をわずれたときには報告させる。
教室掲示について	① 教務から配布された資料に準ずる。
ノート・その他	① 日付を書かせる。 ④視覚的な効果が高めるためにICT機器を活用する。 ② 線を引くときは定規を使わせる。 ⑤授業の毎時間、書く活動を取り入れる。 ③ ノートの書き方を指導する。

評語	明
A	設定した目標を高度に達成した。
B	設定した目標を概ね達成した。
C	設定した目標を達成するには、もう一歩である。
D	設定した目標はほとんど未達成である。

教科名	児童の実態	指導方法の改善と工夫	評価	
			2学期	3学期
国語	<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>【漢字の書き取り】 ・校内漢字テストの結果、3年生までの漢字は約8割の児童が習得しつつあるが、2割の児童は不十分である。4年生で習った漢字は、一学期の漢字のまとめのテストの平均が約90点とおおむね定着していた。 【読むこと・書くこと】 ・物語文の読み取りでは、書かれていることのおおまかな内容や事実関係を把握することは、ほとんどの児童ができています。説明文では、段落や大事な言葉、文章を見付け要点を書くことはできるようになってきているが、段落相互の関係に注意しながら読み取ることが難しい児童がいる。実際に段落を使って書くことは難しい。 【話す・聞く】 ・挙手をして積極的に話すことができる児童と、あまり話さない児童の差がある。傾聴する姿勢を大多数の児童が身に付けているが話を理解するまでには至っていない。</p>	<p>【漢字の書き取り】 ・漢字テストの再テストを行うこと。 ・3年生までの漢字を復習する機会を作ること。 ・家庭学習の中でも復習の取り組みを行う。</p> <p>【読むこと・書くこと】 ・筆者の思いを中心に読み取らせ、要旨をまとめる体験を繰り返す。 ・段落の関係を短い言葉で表現することを繰り返す。 ・伝えたいことを中心に段落を構成するよう、構想図を書かせた上で、作文を書かせる。</p> <p>【話す・聞く】 ・相手にわかりやすく、ゆっくり、はっきり、大きな声でのめあてを持たせ、話をさせる。 ・友達の見解に関する自分の意見をもたせるようにする。</p>	B	B
	<p>言語能力の実態と言語活動の改善・工夫</p> <p>【話し合い】 ・自分の言いたいことだけに目がいき、人の話を聞いていないことが多い。また、積極的に手を挙げる児童と消極的な子の差がある。</p>	<p>【話し合い】 ・発言のルールを繰り返し確認する。 ・手を挙げて指名されてから話す。 ・話し手の顔を見て聞く。 ・聞き手の顔を見て話す。</p>	B	A
社会	<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>【資料の読み取り】 ・社会科見学で、興味関心が高まり、写真や図を用いて学習をまとめることができるようになってきている。グラフの読み取りは細かいステップが必要である。 ・グラフや写真から情報を読みとり、気付いたことを書くことが苦手で、個別の対応が必要な児童が数名いる。 【表現】 ・ノートや新聞にまとめる活動は、興味をもって行う。感想や見たことが中心であり、課題にそった記述やまとめ・考察ができるまでには、至っていない。 【関心・意欲・態度】 ・興味・関心は高く、見学や調べなどの具体的な活動は進んで取り組んでいる児童が多い。</p>	<p>【資料の読み取り】 ・算数学習と連動し、基本的なグラフの読み取りスキルの学習を繰り返すとともに、その資料からの読み取りを個別的に繰り返す。 【表現】 ・新聞を繰り返し書くことを通して、課題に対する自分の考えについて触れるように声を掛ける。 【関心・意欲・態度】 ・PCを用いたり、視聴覚機器を用いて、関心の高まりをさらに計る。</p>	B	B
	<p>言語能力の実態と言語活動の改善・工夫</p> <p>【発表】 ・学習の発表については、意欲的に取り組むが、発表のスキルが身に付いていない、聞き取りにくい児童が多い。下を向いて説明する児童もいた。</p>	<p>【発表】 ・声の大きさ、話す方向などは、事前に十分に指導しておく。 ・発表原稿を確認しておく。</p>	B	B
算数	<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>【コース別指導】 ・少数指導にも慣れ、意欲的に取り組んでいる。 【基礎的な計算】 ・校内計算テストでは3年生までの計算習得しているのは、7割に上るが、残る3割の児童は、習熟度がけた違いに低い。かけ算九九の完全習得は、3年生より上がっているが、答えるのに時間がかかる児童がみられる。 【書く】 ・黒板に書かれたものをノートに書くことは多くの児童ができる。定規を用いて的確に描くことにも慣れてきている。しかし、マスの中に数字や文字を書かず、位どりや計算を正しくできない児童も数名みられる。また定規を用いて直線を引いていない児童もいる。自分の考えを図や式を用いてわかるように表現することができる児童はかなり少ない。</p>	<p>【コース別指導】 ・児童の実態に応じたコース編成を続ける。 【基礎的な計算】 ・個別指導を充実させ、整数の四則演算の正答率を高めていくとともに、家庭との連携を図り、家庭学習でも取り組ませる。 【書く】 ・めあてに応じた、学習結果が分かるように、板書を工夫し、ノート点検を繰り返す。 ・書けていない児童には、書けない原因を明らかに、家庭への連絡を行い、家庭での声かけをお願いする。 ・問題の理解直後は、立式を求めず、問題文の内容を図を用いて表現するよう指示を出し、行う。</p>	B	B
	<p>言語能力の実態と言語活動の改善・工夫</p> <p>【説明する力】 ・計算の仕方など決まった言葉での説明はできる。どう考えたかを式や図を用いて、分かりやすく発表することは難しい。</p>	<p>【説明する力】 ・事前にノートに考え方をまとめさせ、隣同士などの小集団での発表の機会を増やす。</p>	B	B

理科	思考力・判断力・表現力	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物や電気に関心をもち意欲的に学習に取り組んでいる児童が多い。課題を意識して取り組むことが苦手な児童もいる。</li> </ul> <p>【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察については、大変興味をもって行う児童が多い。観察ポイントを知ること、細かく見ることができるようになっている。変化の様子をまとめたり、育ちについて現在と過去を比較した考察はまだ難しい。</li> </ul> <p>【ノート指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題、予想、実験、結果、まとめの流れでノートに書くことができていない児童は少なく、実験結果や考察を書けていない児童との差が大きい。</li> </ul> <p>【説明する力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見て知ったことや気付いたことを発表する児童が多い。自分の考えに理由を加えて説明できる児童は少ない。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のねらいを十分に子どもたちに伝え、調べたり、確かめたりすることを明確にして取り組ませる。</li> </ul> <p>【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今だけではなく、比較対象物を明確にし、気づいたことなどの文章表現でまとめさせる</li> </ul> <p>【ノート指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことの明確化、簡潔化を図り、ノートの整理の仕方を指導する。</li> </ul>	B	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫	<p>【説明する力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ、根拠を明らかにするよう声かけし、理由を言えたら褒めることを繰り返す。</li> </ul>	<p>【説明する力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ、根拠を明らかにするよう声かけし、理由を言えたら褒めることを繰り返す。</li> </ul>	B	B
音楽	思考力・判断力・表現力	<p>【音楽表現の創意工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色や強弱、歌詞の内容など、音楽を形づくっている要素を聴き取ったり感じ取ったりしながら表現の工夫につなげている児童が多く、曲想を感じ取って工夫を考えられる児童が多い。</li> <li>・音楽づくりや鑑賞において、全体的には活動のねらいに沿って取り組むことができていない。しかし、音楽的な視点から主体的に課題や面白さを見つけていたり、深めたりする児童は少ない。</li> </ul> <p>【音楽表現の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱ではやわらかい声で歌える児童が多く、音色や強弱に気を付け、発声や音程を意識して歌う児童も増えてきている。</li> <li>・リコーダーにおいては、おおむね運指は定着しているが、タンギングの定着に個人差がある。また息づかいが強すぎる児童が多い。</li> </ul>	<p>【音楽表現の創意工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の工夫をするポイントを明確にし、一人一人が課題意識をもって取り組めるようにする。必要に応じてワークシートを使用して考えをまとめさせる。</li> <li>・活動のねらいや方法を明確にした上で活動に取り組ませる。また、互いに関わる活動をできるだけ多く設定し、主体的に学習するスタイルを身に付けさせていく。</li> </ul> <p>【音楽表現の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想を意識させ、曲にあった発声で歌うように引き続き指導する。</li> <li>・鑑賞から、どんな風に歌いたいのか、どんな表現がふさわしいかを想起させ、歌い方に結びつけていく。</li> <li>・曲の特徴にあったタンギングができるように、その曲にはどのような演奏がふさわしいか考えさせたり、試したりするような場を設定する。また、必要に応じて個別指導をする。</li> </ul>	B	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫	<p>【伝え合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の記述では、内容に個人差がある。</li> <li>・発表や意見を聞く際に、相手の方を見ることが徹底できていない。</li> </ul>	<p>【伝え合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を明確にして聴くようにする。音色の比較や、速さの変化などの分かりやすいものから取り上げて、全員が課題を共有できるようにする。発言から交流したり、参考になる記述を紹介したりして、学習が深まるようにする。</li> </ul>	B	B
図工	基礎的・基本的な知識・技能	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業規律はしっかりとしている。関心・意欲が高く、どの題材にも興味をもって積極的に制作に取り組む児童が多い。</li> </ul> <p>【発想・構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発想力が豊かで、自分の思いを絵や形に表すことができる児童が多い。</li> <li>○自分のイメージを広げていたり、ふくらませたりすることが難しい児童がいる。</li> </ul> <p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道具や材料の使い方を正しく理解している児童が多いが、個別に助言や指導が必要とする児童もいるため配慮が必要である。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関心・意欲ともに高い児童が多いので、今後もさらに向上できるように題材の選定や授業内容を工夫していきたい。</li> </ul> <p>【発想・構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い表現が身につくように、様々な材料に触れさせる。</li> <li>○友達同士で発想のよさを感じる機会を増やし、よさを認めたり、児童の発言からヒントになる言葉やポイントとなる言葉を全体に伝えるなどしてイメージの広がりに結び付けていく。</li> </ul> <p>【創造的な技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○板書や図版、電子黒板などで制作工程を明記し視覚で確認できるようにする。</li> <li>○個別対応では1つ1つ段階を示し、少しずつ達成できるようにする。</li> <li>○班で学び合い、教え合う習慣は身につけてきている。引き続き協力するための声かけを行う。</li> </ul>	B	B
	言語活動	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のよいところに気付き、他者のよいところも積極的に見ようという気持ちがあるが、気付いたよさを自分の言葉で表現することが難しい児童がいる。</li> </ul>	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の作品を見る時間は積極的にいろいろな作品を見て、いいところをみつけるよう指導する。</li> <li>○言葉の表現が難しい児童には、よさを伝える言葉の例を提示したり、つぶやきを逃さないよう児童と一対一で関わるようにする。</li> </ul>	B	B
体育	思考力・判断力・表現力	<p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的なからだの動きの技能が不十分な児童が見られるが、意欲をもって取り組むことができていない。苦手な技に対する取り組み方は全体的に積極性に欠けている。たがいに教えあうことはできていない。</li> </ul> <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習の工夫など、考えて練習を行うことは苦手である。</li> </ul>	<p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードの作成・活用を通して、いろいろな技能のポイントを視覚的に訴える工夫をする。</li> <li>・上達や進歩などを互いに認め合う時間を取り入れることで意欲の向上を図る。</li> </ul> <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たがいに見合う場を工夫し、練習のポイントを考えさせるようにする。</li> </ul>	A	A
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫	<p>【話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで、作戦を考えたり、取り組みの工夫を話し合うことはまだ十分にはできていない。</li> </ul>	<p>【話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードの活用を通して、主体的に話し合えるよう、話し合う内容を明確にし、考える時間を確保する。</li> </ul>	A	B
道徳	思考力・判断力・表現力	<p>【生命尊重】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に対して、軽い気持ちで、傷つく言葉を発してしまう場面がみられる。その時々で指導をしているが、自他を尊重する生活態度を育てる必要がある。</li> </ul> <p>【節度ある生活態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活の秩序、学習規律について課題がある。周りの様子を見て、流されやすい傾向がある。</li> </ul> <p>【思いやり・親切】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の児童に対し、相手の立場に立って考えることができていない児童が少数ではあるが、いる。</li> </ul>	<p>【生命尊重】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を傷つける心ない言葉遣いについてはその場で指導する。</li> <li>・繰り返し見られる場合は家庭と連携し、指導に当たる。</li> </ul> <p>【節度ある生活態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる機会を捉えて、きまりやルールは守ることの必要性を指導する。話の聞き方については、粘り強く声かけを行う。</li> </ul> <p>【思いやり・親切】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では具体例を挙げて人権尊重の心がけの必要性を指導し、相手を尊重する態度を養う。</li> </ul>	B	A
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫	<p>【発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の気持ちを進んで発表できる児童が多い。その一方で考えをまとめきれない児童も少数いる。</li> </ul>	<p>【発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを活用し、自分の考えや意見を事前に書かせてから発表させる。</li> <li>・隣同士やグループで意見の交流を行うなど、発言の機会を増やす工夫をする。</li> </ul>	B	B
総合的な学習の時間	思考力・判断力・表現力	<p>【見通しをもって課題に取り組む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を見つけることは出来ていたが、課題の解決に向けての進め方の見通しを持つことが難しい児童が多い。課題解決計画が十分ではなかった。</li> </ul> <p>【生かそうとする力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを生活に生かせる場面は、今は少ないが、ゴミの問題を自分たちの問題としてとらえ、環境保全の意識をもたせることはできた。</li> </ul> <p>【理解し伝える力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会を開いたが、発表のスキルの指導が足りず、自己満足の段階で終わってしまったグループが多かった。内容の充実とともに伝える力の向上が必要である。</li> </ul>	<p>【見通しをもって課題に取り組む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインについて取り組んでいく。国語や社会の学習と関連づけながら進めていく。</li> <li>・ワークシートを作成し、進めていく手順を1つずつ確認して取り組ませる。</li> <li>・ゲストティーチャーをいかに活動計画の中に組み入れるかを考え、指導計画を立てるようにする。</li> </ul> <p>【生かそうとする力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を進めていく中で、分かったことを、自分の生活をふり返ってどう生かしていくか等を話し合うようにする。</li> </ul> <p>【理解し伝える力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の仕方の指導をしっかりと行い、聞いていてわかる発表にさせる。</li> </ul>	A	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫	<p>【話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数活動が主で、個々の取り組みは少ない。話し合いの活発さはグループの構成メンバーにより差が見られた。</li> </ul>	<p>【話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の取り組みを充実させるために、課題解決に向けた自分の願いや計画を考え、個々の追究を高めていくことで、話し合いの内容の充実を図る。</li> </ul>	A	B